

校報 まきがね

恵那西中学校だより 第7号

令和2年10月1日(木)発行



“GIGA スクール”ってどんな学校？

GIGA = Global and Innovation Gateway for All

全員がグローバル（国際舞台）とイノベーション（革新的創造）の扉を開けることのできる学校

校長 熊崎 健一

スマートフォンやタブレット PC の急速な普及により、今では“ギガ”という言葉を目にしない日がありません。みなさんもよくご存知のように、ここでいう“ギガ”は、データ容量の単位であるギガバイト(GB)を意味しています。では、最近よく報道等でも取り上げられている“GIGA スクール”とは一体どんな学校なのでしょう？実は、もうすぐそこまで迫って来ています！

昨年12月、文部科学省が「**GIGA スクール構想**」を打ち出しました。これは、「**高速大容量通信ネットワークと一人一台端末の一体的な整備により、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校で持続的に実現させるための構想**」と説明されています。当初、国は令和5年度末完了をめざしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下で、オンライン授業やオンライン会議などの有効性が注目され、4月、文部科学大臣は早期実現(R2年度末までにやりきる)を表明しました。

恵那市においても市を挙げて整備を急ピッチで進めており、早ければ11月頃から端末(iPad)が順次生徒に配付(貸与)される見込みです。本校でも、全生徒への iPad 配付に備え、これまで以上に ICT を積極的に活用した授業を試み、準備を進めているところです。

一人一台端末と高速無線 LAN の整備により、子供の学びは大きく変化することでしょう。間もなく実現するその教育環境のもとで子供たちが ICT を賢く使いこなす力を身に付けていくことは、**Society5.0***と呼ばれる新時代をよりよく生き抜くための“必須アイテム”と言えるでしょう。

※「Society5.0」とは、仮想空間(AI)と現実空間(人の知恵)を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会を意味します。



行事は…。学習は、順調に進んでいます！

7月中旬に「夏季休業日の短縮に伴う本校の対応について」というお便りを配付しました。その中にも触れており、保護者の皆様も心配されていた「学習の進捗」について現状をお知らせします。

当初、「11月末から12月上旬をめどに通常の進捗となるよう時間割を調整します。」とご案内していましたが、9月末現在で、すでに5教科(国社数理英)については通常の進捗(時数・内容)を取り戻すことができました。また、それ以外の教科についても間もなく追いつく見込みです。予定より大幅に早く遅れを取り戻せた理由としては、次のような取組を挙げるすることができます。

- * 夏季休業日の大幅な短縮により、授業日数を確保した(34日→9日で25日の増加)
- * 学校行事(体育大会、宿泊行事など)の見直しにより、取組にかかる時間を教科の授業に充てた。
- * 各教科において家庭学習との関連を見直し、効果的・効率的に学習を進める工夫をした。

学校としてできる限りの工夫や努力をしてきました。しかし、何といたっても生徒が酷暑の中を頑張って登校し、それをお家の方が支えてくださったからこそ成し得たことです。台風や新型コロナ、インフルエンザによる臨時休業の可能性もあるのでまだまだ予断は許しませんが、今後も生徒・家庭・地域・学校の“チーム恵那西中”で困難を乗り越えていけるよう、引き続きのご支援をお願いいたします。